



第9回
東京臨海リサイクルパワー株式会社による
微量PCB廃棄物処理事業に係る地域環境委員会

平成27年1月27日（火）
東京臨海リサイクルパワー株式会社
東京電力株式会社

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

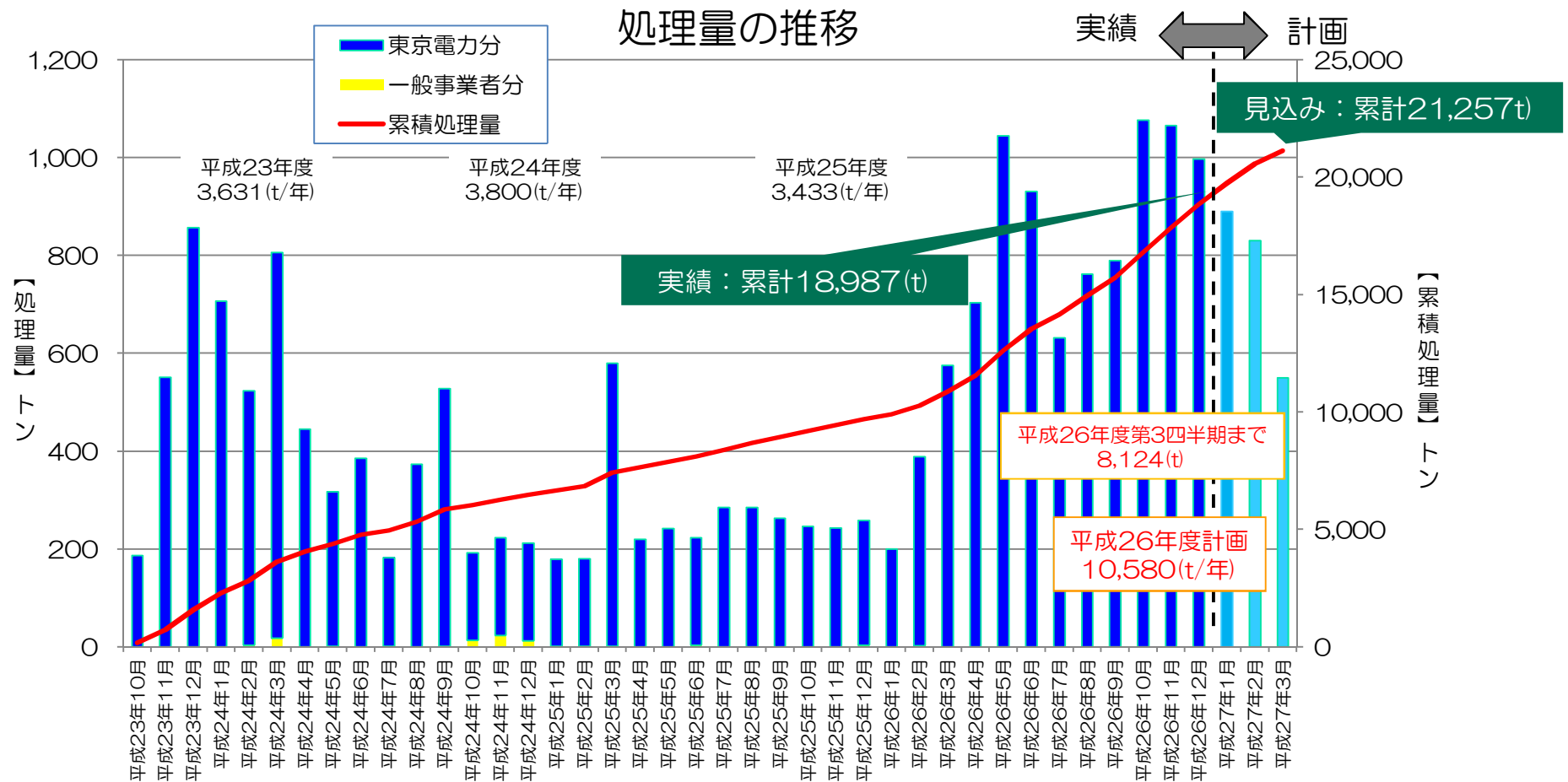
安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

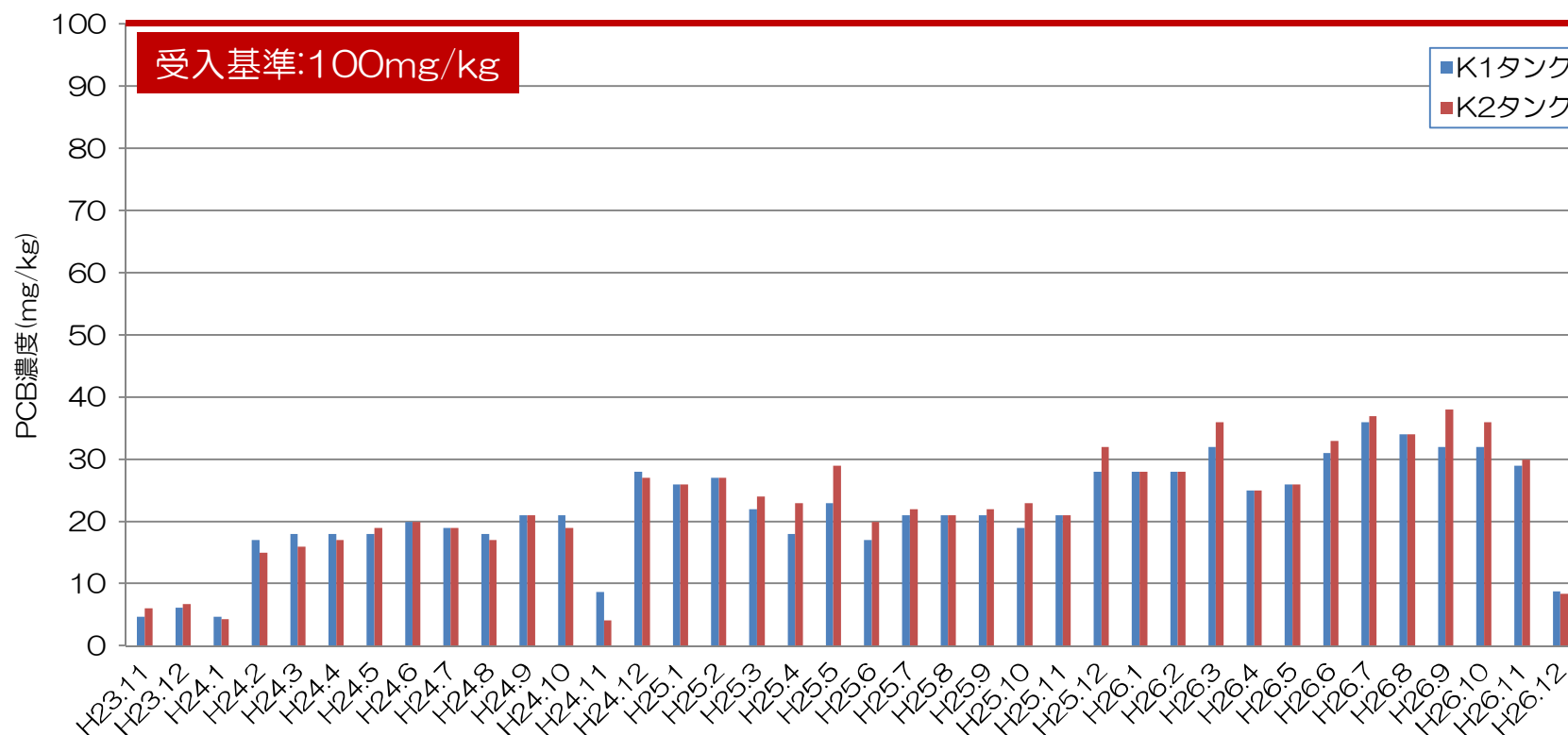
(1) 微量PCB汚染絶縁油の処理実績と計画

- ◆ 微量PCB汚染絶縁油は、確実な処理を継続実施中。
- ◆ 平成26年度は、おおよそ当初計画通りの量で処理が進んでいる。



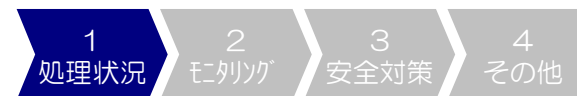
(2) 微量PCB汚染絶縁油の濃度測定結果

- ◆ 微量PCB汚染絶縁油は敷地内の2基（K1、K2）のタンクに受入。
- ◆ 定期的（1回/月）に各タンクのPCB濃度を測定。
- ◆ PCB濃度は受入基準である100mg/kgを下回る40mg/kg以下で推移。



※平成26年12月末日現在

(3) 平成27年度 微量PCB汚染絶縁油処理計画



(1) 処理計画量(トン)

H26年度	H27年度
10,580	10,640

※当社最大処理能力
年間約21,000トン

◆ 大口からの搬入量は、平成26年度と同レベルを予定している。

(2) 平成27年度運転計画と処理計画

産業廃棄物焼却施設の定期点検停止時期と処理計画量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
産廃炉A系	● 定期点検										● 定期点検	●	
産廃炉B系			● 定期点検	●									
PCB処理計画量(t)	910	980	700	790	1040	960	890	960	930	910	760	810	10,640

※定期点検とは別に約1ヶ月毎に定例整備停止

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

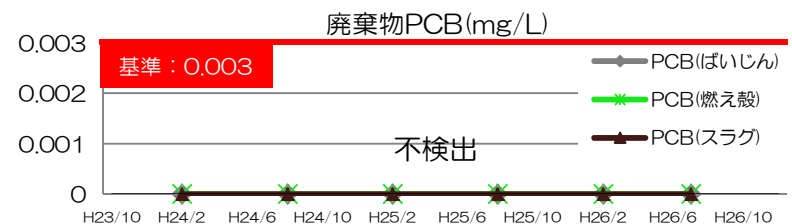
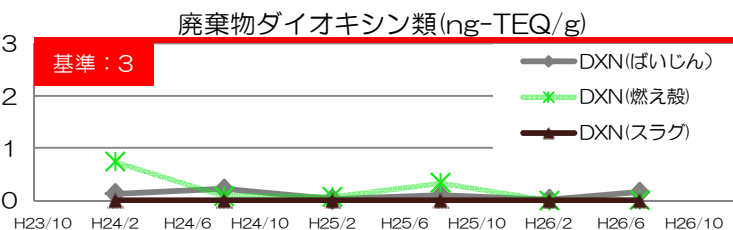
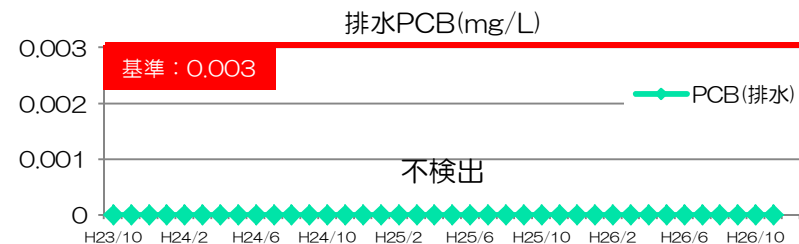
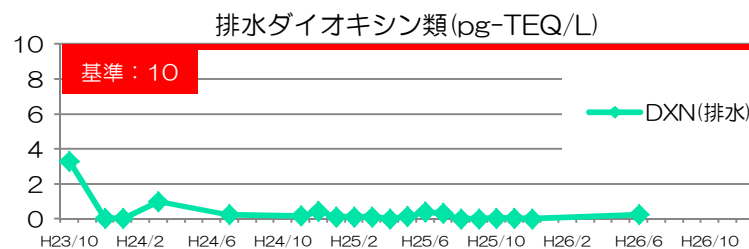
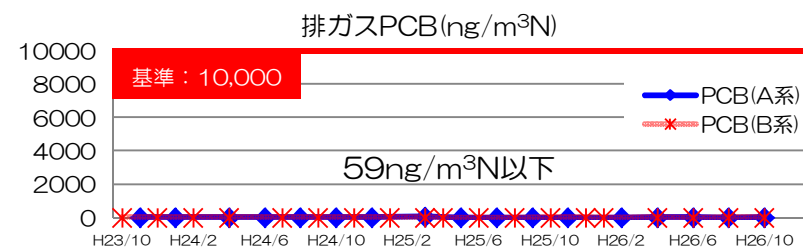
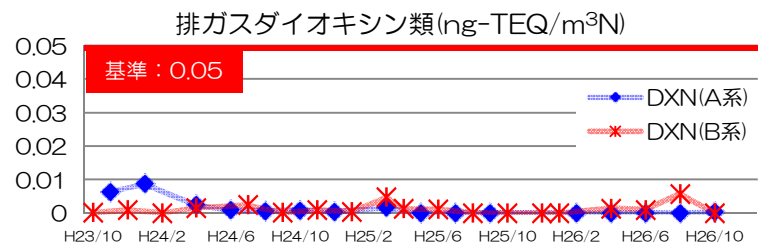
4

その他

(1) 発生源モニタリング（排ガス、排水、廃棄物）



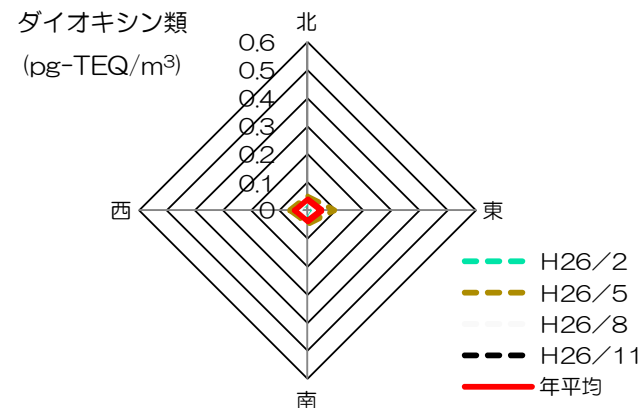
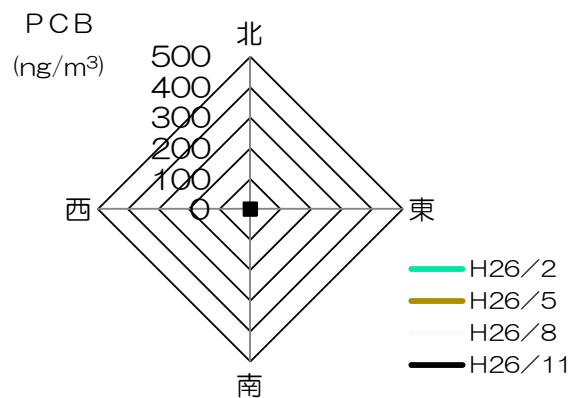
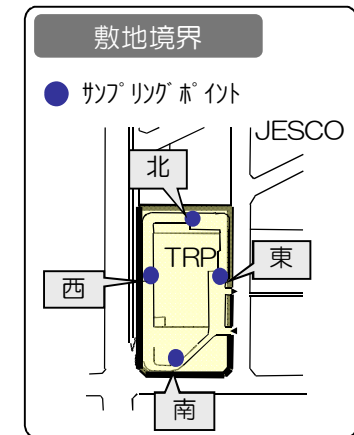
- ◆ 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のPCBおよびダイオキシン類測定を実施。
- ◆ 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。



(2) 周辺大気環境 (TRP敷地境界)

- ◆ 協定に基づき年4回の頻度で敷地境界において測定を実施。
- ◆ PCBおよびダイオキシン類濃度ともに、全ての測定値が基準値を満足。

		測定月				年平均	基準値	測定頻度
		H26/2	H26/5	H26/8	H26/11			
PCB (ng/m ³)	東	0.030	0.420	0.600	0.310	500	4回/年	
	西	0.033	0.370	0.690	0.250			
	南	0.035	0.410	0.570	0.340			
	北	0.039	0.500	1.000	0.310			
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	東	0.024	0.096	0.031	0.069	年平均 0.6	4回/年	
	西	0.045	0.060	0.031	0.058			
	南	0.036	0.048	0.034	0.054			
	北	0.025	0.051	0.038	0.051			



- 1 微量PCB汚染絶縁油の処理状況
- 2 環境モニタリング状況
- 3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）
- 4 その他

(1) 社内教育



- ◆ 社員（経営層、協力会社含む）の関係法令に関する理解度の向上、安全意識の高揚等を目的に定期的な教育を実施。

前回（第8回）の地域環境委員会以降の社内研修実績

実施日	内 容	対象
毎月1回	関係法令等の勉強会を実施 廃棄物処理法、水濁法、下水道法、敷地境界測定 等	経営層 管理職
入社時随時	安全教育、ダイオキシン・PCBに関する基礎教育	新入社員
平成26年7月24日・ 8月7日・9月8日	工事監理員研修（安全評価、安全施工）	メンテナンスG
平成26年10月2日	保護具・安全装備品の着用について	メンテナンスG 協力会社
平成26年11月4日～7日	災害事例検討会、ダイオキシン・PCB対策	運転G 当直
平成26年12月18日	ダイオキシン・PCB対策	メンテナンスG
平成26年12月	ヒヤリハットの抽出・リスク評価・対策の実施	当直・運転G メンテナンスG

※平成26年12月末日現在

経営層を含む社員を対象に社内教育を継続実施。

(2) 訓練 (緊急時対応訓練)

1
処理状況

2
モニタリング

3
安全対策

4
その他

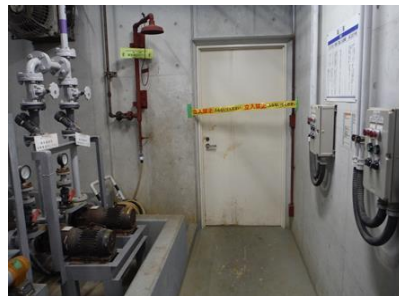
◆ 微量PCB汚染絶縁油の漏洩等、緊急事態を想定した対応訓練を年2回実施。

【平成26年12月18日】 塩酸漏洩対応訓練

- ◆ 排水処理用薬品で使用している塩酸の配管継手からの漏洩を想定。
- ◆ 当直の初動対応、特定化学物質主任取扱者を中心とした漏洩対応作業及び行政への通報等の訓練を実施。



訓練開始の連絡



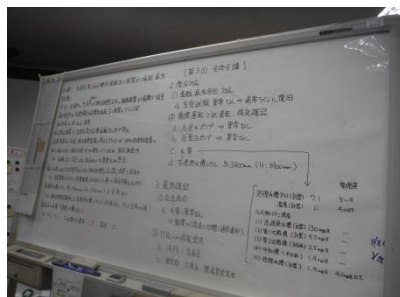
現場立入禁止措置(建屋内)



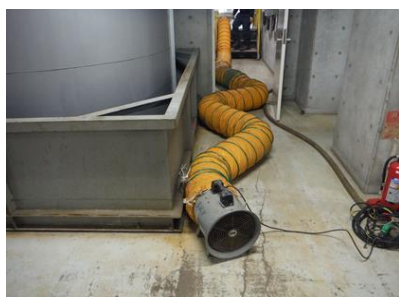
現場立入禁止措置(建屋外)



非常災害対策本部の設置



ホワイトボードによる情報共有



漏洩箇所の換気



漏洩設備の停止作業



塩酸の希釈措置

次回は平成27年6月に「微量PCB汚染絶縁油漏洩対応訓練」を実施予定。

(3) 災害等発生状況 (1 / 2)



- ◆ 微量PCB汚染絶縁油処理に関する労働災害の発生はなし。
- ◆ TRPにおける労働災害は前回委員会（第8回）以降、請負災害1件(不休)発生。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
労働災害 発生件数	5	4	0	3

※平成26年12月末日現在

前回（第8回）報告

H26年度災害発生状況 ①(社員災害)

平成26年4月3日(木)

攪拌ブローア接触による右手中指屈筋腱断裂(不休)

H26年度災害発生状況 ②(請負災害)

平成26年6月29日(日)

活性炭袋開封作業中、右大腿部切創(不休)

(3) 災害等発生状況 (2/2)

H26年度災害発生状況 ③(請負災害)

災害発生日時：平成26年11月28日（金）9：30頃

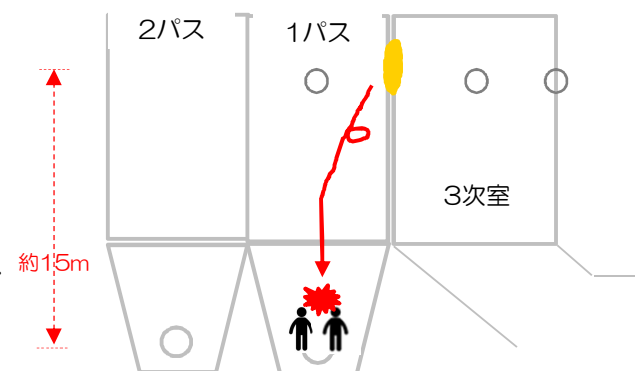
場所：産廃炉A系ボイラ内

被災者：協力会社(1次請)33歳（男性）経験年数16年 右肘挫創・頭部打撲（不休）

協力会社(1次請)31歳（男性）経験年数 8年 左肩打撲・頭部打撲（不休）

発生状況：

停止中の産廃炉A系ボイラ内にて、炉内付着物除去作業の準備で足場組立中、ボイラ内上部水管に付着していた灰の塊（約30cm角）が剥がれ落ち、直下の作業員2名に当たって負傷した。



- ✓ 作業等でボイラ内に入る際には、事前に上部の付着灰を除去する。
- ✓ 除去によって炉内の安全エリアを確保した後、残留付着物を除去しながら安全エリアを拡大していく段階的工法で対応する。
- ✓ 社員および工事関係者に対し、ミーティングにて本災害事例の周知と前記作業要領を徹底。

(4) 設備不具合



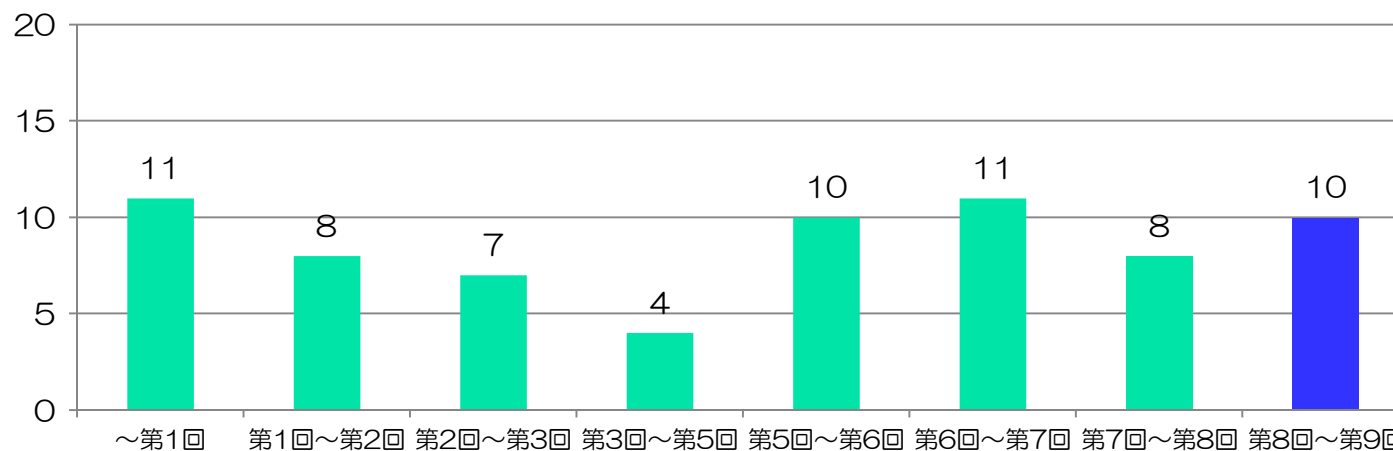
◆ 前回（第8回）の地域環境委員会以降、微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合はなし。

産業廃棄物焼却炉の微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合発生件数

期間	～第1回	第1回～第2回	第2回～第3回	第3回～第5回	第5回～第6回	第6回～第7回	第7回～第8回	第8回～第9回
発生件数	0	0	0	0	0	1※1	0	0

※1 平成25年12月19日 油サービスタンクからの滲み発生。（前々回委員会にて報告）

【参考】産業廃棄物焼却炉のトラブルによる設備停止回数



注) 第4回は臨時開催のため除外

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

◆ 品質・環境・情報セキュリティマネジメントシステムの更新・移行審査受審 受審日：平成26年11月12日～14日 → 審査適合(同12月24日)

【弊社のマネジメントシステム】

- ISO9001:2008 品質マネジメントシステム
顧客に品質のよいモノやサービスを提供する『顧客満足』を目的とした管理手法
- ISO14001:2004 環境マネジメントシステム
会社を取り巻く利害関係者の環境に悪影響を与えない『環境保全』を目的とした管理手法
- ISO/IEC27001:2013 情報セキュリティマネジメントシステム
『情報の漏洩』を防ぐことを目的とした管理手法

◆ 東京都産廃エキスパート（H23取得：番号13-20-129086）更新審査受審 受審日：平成26年10月17日 → 審査適合(同12月24日)

【産廃エキスパート】

適正処理、再資源化及び環境に与える負荷の少ない取り組みの実施など、一定の基準をクリアした業者として、東京都から認定を受ける制度。

◆ 一般廃棄物処分業廃止届（東日本大震災の災害廃棄物処理終了に伴い） →平成27年3月提出予定